

⑧ コンクリートの養生温度経歴と圧縮強度

小野田セメント株式会社中央研究所 高 野 俊 介

(要 旨)

本文はコンクリートの強度が初期温度ばかりでなく、その後の養生温度によつて、いかなる影響を受けるかを知る目的のため行つた研究結果の一部をのべたものである。

すなわち、コンクリートを打込むときから試験材令に達する迄の期間種々の温度経歴に従つて養生温度を変化させた場合の圧縮強度を試験し、その結果、コンクリートは初期低温度で養生したものは長期強度の発現が大きく、また、初期高温度で養生したものは、長期強度の増進にたいし有害であること、養生温度や養生様式が、コンクリートの強度に及ぼす影響は、セメントの種類によつて著しく異なることから、コンクリート施工時の温度について考える場合、現行規格強度はコンクリート強度の推定にたいし、あまり有用でなく、殊にダム用セメントとしての中廊塞セメントの現行規格は養生温度および試験材令に關する限り適當でない

こと、感を結論としたものである。

⑨ 山口県面国橋の載荷試験

山口県土木部 道路課	伊 木 茂
京都大学工学部土木教室	成 岡 昌 夫
山口大学工学部土木教室	○米 沢 博

(要 旨)

面国橋は中央スパン：ポニーラス，側スパン：合成桁橋よりなる2